

中学歴史プリント（過去問類似）

江戸時代

名前

得点

/8

問1 江戸時代に河村瑞賢によって整備された航路のうち、出羽国の酒田を出発して日本海を西へ進み、下関を經由して瀬戸内海を通り、当時の経済の中心地であった大坂へと至る輸送ルートを何と呼びますか。 (2015年 長崎県公立入試 類似)

1. 西まわり航路 2. 東まわり航路 3. 南まわり航路 4. 北前船航路

問2 江戸幕府の土地支配に関する統計資料に基づく、幕府領（直轄地）が全国の総石高に占める割合は約24%でした。幕府がこの割合の石高でありながら、全国の諸大名に対して圧倒的な優位を保てた背景として、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 大阪公立入試 類似)

1. 佐渡金山などの重要な鉱山や、江戸・大坂・長崎といった経済・貿易の要衝を直接支配したため。 2. 大名の領地からも、収穫された米の半分を幕府に納めさせる制度を全国一律で導入したため。 3. 全国の石高の約74%を占める大名の領地すべてを、数年ごとに強制的に入れ替える権利を行使したため。 4. 寺社領や公家領をすべて幕府の直轄地に統合し、宗教的・伝統的な権威を完全に排除したため。

問3 徳川吉宗による洋書の輸入制限の緩和は、のちの学問の発展に大きな影響を与えました。前野良沢や杉田玄白らが、長崎で入手したオランダ語の医学書を日本語に翻訳し、『解体新書』を出版したことによって確立された学問を何といいますか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)

1. 蘭学 2. 国学 3. 朱子学 4. 陽明学

問4 日本の世界文化遺産に関する説明として、江戸幕府を開いた徳川家康をまつために建てられた建造物はどれか。 (2019年 北海道公立入試 類似)

1. 中尊寺金色堂 2. 平等院鳳凰堂 3. 日光東照宮 4. 厳島神社

問5 天保のききんから、1841年に天保の改革が始まるまでの間に起きた「大塩平八郎の乱」について述べた文として正しいものはどれか。 (2024年 岐阜公立入試 類似)

1. この反乱は、幕府の直轄地であり「天下の台所」と呼ばれた大坂で、元幕吏によって引き起こされた。 2. この反乱は、慶安の変とも呼ばれ、徳川家光の死後の不安定な社会情勢の中で計画された。 3. この反乱を鎮圧した幕府は、ただちにキリスト教禁止を徹底するため、島原・天草一揆への警戒を強めた。 4. この反乱の結果、幕府は全国の藩に対し、藩校を設置して身分を問わず人材を育成することを命じた。

問6 江戸時代の大坂が「天下の台所」として繁栄した背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 島根公立入試 類似)

1. 諸大名が、参勤交代などで必要となる現金を調達するため、蔵屋敷に物資を集めて商人に売却したから。 2. 幕府が、江戸の食料不足を解消するために、全ての物資を一度大坂に集めるよう命令を出したから。 3. 鎖国体制下において、大坂が唯一の海外貿易の窓口として外国の特産物を独占的に扱ったから。 4. 将軍が住む江戸の人口が急増したため、大阪の特産物を全て幕府が買い上げて江戸へ送ったから。

問7 江戸時代の町人文化（化政文化）が栄えた時期に活躍した浮世絵師について述べた文です。富士山を各地から様々な角度で描いた「富嶽三十六景」などの風景画を確立し、後のヨーロッパの芸術家にも影響を与えた人物として正しいものはどれですか。 (2021年 東京都公立入試 類似)

1. 葛飾北斎 2. 菱川師宣 3. 狩野永徳 4. 雪舟

問8 寛政の改革で行われた、旗本や御家人などの武士を経済的に救済するための政策について、その内容を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2014年 沖縄公立入試 類似)

1. 棄捐令（きえんれい）を出し、札差などの借金に苦しむ武士の債務を帳消しにさせた。 2. 株仲間を積極的に解散させることで物価を下げ、武士の生活コストを低減させた。 3. 専売制を導入し、地方の特産品を幕府が買い取ることで武士に手当を支給した。 4. 公事方御定書を制定し、武士と商人の間の金銭トラブルをすべて商人の負けとする裁判基準を作った。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 西まわり航路	山形県の酒田から下関を經由して大坂へと結ぶルートは「西まわり航路」と呼ばれます。この航路の整備によって、東北地方や北陸地方の年貢米や特産物が大量かつ効率的に大坂へ運ばれるようになり、大坂の蔵屋敷はそれらの物資が集まる「天下の台所」としてさらに繁栄することとなりました。
問2	答え 1 佐渡金山などの重要な鉱山や、江戸・大坂・長崎といった経済・貿易の要衝を直接支配したため。	幕府が直接支配する「幕府領」は石高で見ると全国の4分の1程度ですが、幕府は農業生産だけでなく、貨幣の鑄造権を独占し、金・銀などの主要な鉱山を支配していました。また、当時の経済の中心地である大坂や、海外貿易の窓口である長崎などの重要都市を直轄地として管理することで、全国に対する強力な経済的・政治的支配力を確立していました。
問3	答え 1 蘭学	吉宗が実用的な学問のために洋書の輸入を許可したことで、オランダ語を通じて西洋の科学技術を学ぶ「蘭学」が盛んになりました。前野良沢が長崎で購入したオランダ語の解剖書を、杉田玄白らとともに心血を注いで翻訳した成果が『解体新書』であり、日本の近代医学の先駆けとなりました。
問4	答え 3 日光東照宮	栃木県日光市に所在し、徳川家康を神としてまつる神社である。豪華絢爛な陽明門などが有名で、「日光の社寺」として世界文化遺産に登録されている。中尊寺金色堂は奥州藤原氏、平等院鳳凰堂は藤原頼通、厳島神社は平清盛にゆかりのある建造物である。
問5	答え 1 この反乱は、幕府の直轄地であり「天下の台所」と呼ばれた大坂で、元幕吏によって引き起こされた。	大塩平八郎は大坂町奉行所の元与力（役人）であり、幕府の政治を支える側であった人物が反乱を起こしたという点が重要です。発生場所が当時の経済の中心地である大坂であったことも、幕府の権威を大きく揺るがす要因となりました。選択肢にある慶安の変（由比正雪の乱）は江戸時代前期の出来事であり、島原・天草一揆も17世紀の出来事です。
問6	答え 1 諸大名が、参勤交代などで必要となる現金を調達するため、蔵屋敷に物資を集めて商人に売却したから。	大名は参勤交代や領国経営のために多額の現金を必要としましたが、当時は年貢（米）が経済の基盤でした。そのため、物流の要所であった大阪に設置した蔵屋敷に米や特産物を集め、そこで活動する「札差」や「両替商」などの有力な商人を介して換金する必要がありました。この仕組みが全国的な物流ネットワークを形成し、大阪を商業の中心地に押し上げました。
問7	答え 1 葛飾北斎	江戸時代後期の町人文化では、浮世絵の分野において従来の美人画や役者絵に加え、風景画という新しいジャンルが確立されました。葛飾北斎は「富嶽三十六景」に見られるような、波や山を幾何学的に捉える大胆な構図や、鮮やかな色彩を多用しました。この斬新なスタイルは、19世紀後半のヨーロッパでゴッホやモネといった印象派の画家に多大な影響を与えたことで知られています。
問8	答え 1 棄捐令（きえんれい）を出し、札差などの借金に苦しむ武士の債務を帳消しにさせた。	当時、武士は給与である米を現金に換える際、札差（ふださし）と呼ばれる商人から借金を重ねて困窮していました。松平定信は、こうした武士の経済的苦境を救うため、6年以上前の借金を無効にするなどの「棄捐令」を発令しました。これにより一時的に武士は救われましたが、商人が貸し渋りを行うなどの副作用も生じました。